

2026年12月期第2四半期（中間期） 決算説明補足資料

株式会社アルファパーチェス

2026年 8月 10日

■ 本日のAgenda

- 01. 業績概要
- 02. 2026年12月期第2四半期の実績
- 03. 通期業績見通し

本資料には、当社の業績の見通しや将来に関する計画などが含まれております。これらに関する数値などは、現時点の当社の仮定に基づくものであり、その実現を確約、保証するものではありません。今後、様々な要因により、実際の数値などが本資料の記載と著しく異なる可能性がございます。また本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身の判断にてお願いいたします。

01. 業績概要

01-1. 業績概要

【2026年度第2四半期（中間期）実績】

- 売上高は308億円（前年同期比＋7.8%）、営業利益は757百万円（前年同期比＋5.5%）と、増収増益を継続。通期売上見通し653億円に対する進捗率は約47%で例年並み。
- MRO事業
前年度に発生したアスクル社のランサムウェア影響により低下したサービスレベルは正常化したものの売上は弱含みで推移、また前年度の法改正に伴う熱中症対策用品の特需の反動もあり、売上成長率は前年を下回ったものの、事業全体は堅調に推移。
また、固定費の最適化を進めた結果、セグメント営業利益率は改善。
- FM事業
大型工事案件の増加と、一部の顧客の年末に偏っていた案件の平準化により売上高は前年同期比22.9%増と大幅成長。
セグメント営業利益は第1四半期から大きく改善したものの、前年同期比では減益。
引き続き、案件収益性の向上や業務効率化を通じて、収益性の改善に取り組む。

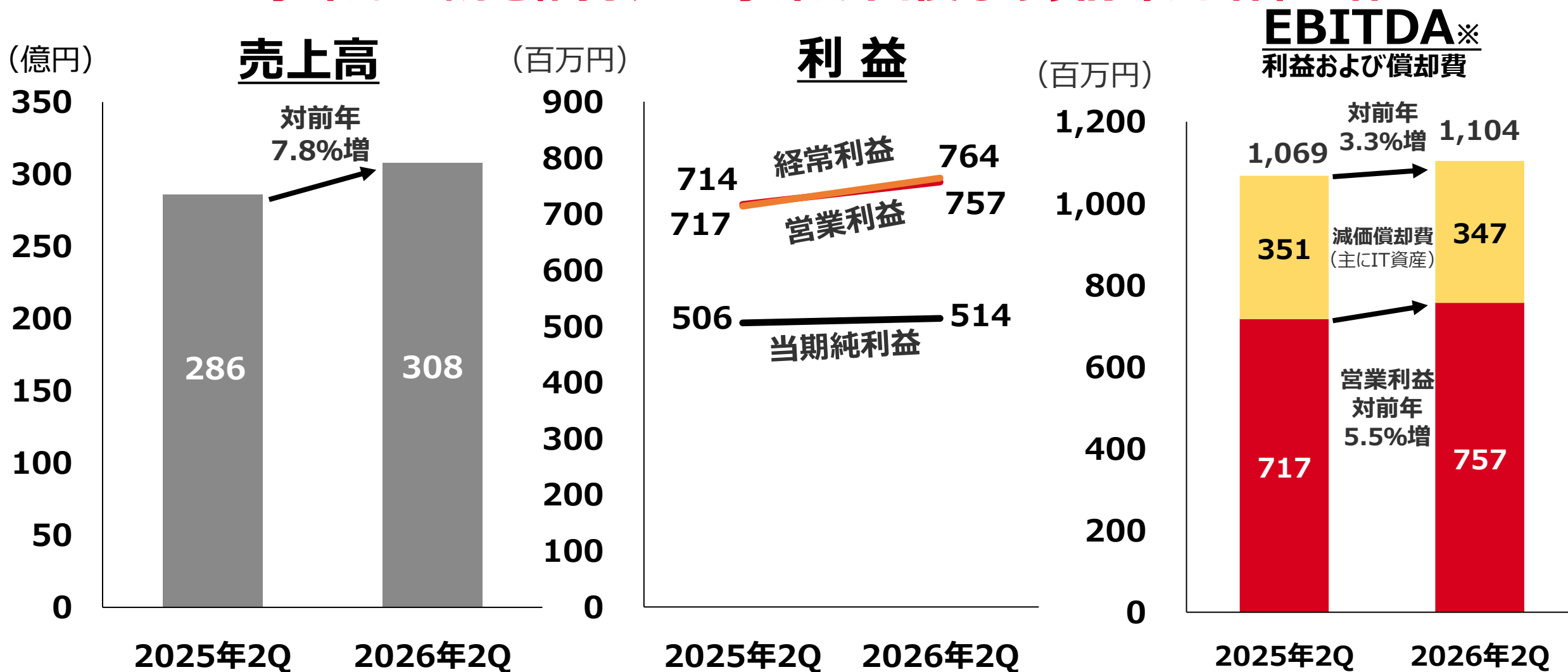
【2026年度 通期見通し】

- 通期の売上高および営業利益予想は、2026年2月13日に公表した業績予想から変更なし。
- セグメント利益別の営業利益は通期でMRO事業14.0億円、FM事業2.0億円、その他0.5億円を見込む。

02. 2026年12月期 第2四半期（中間期）の業績

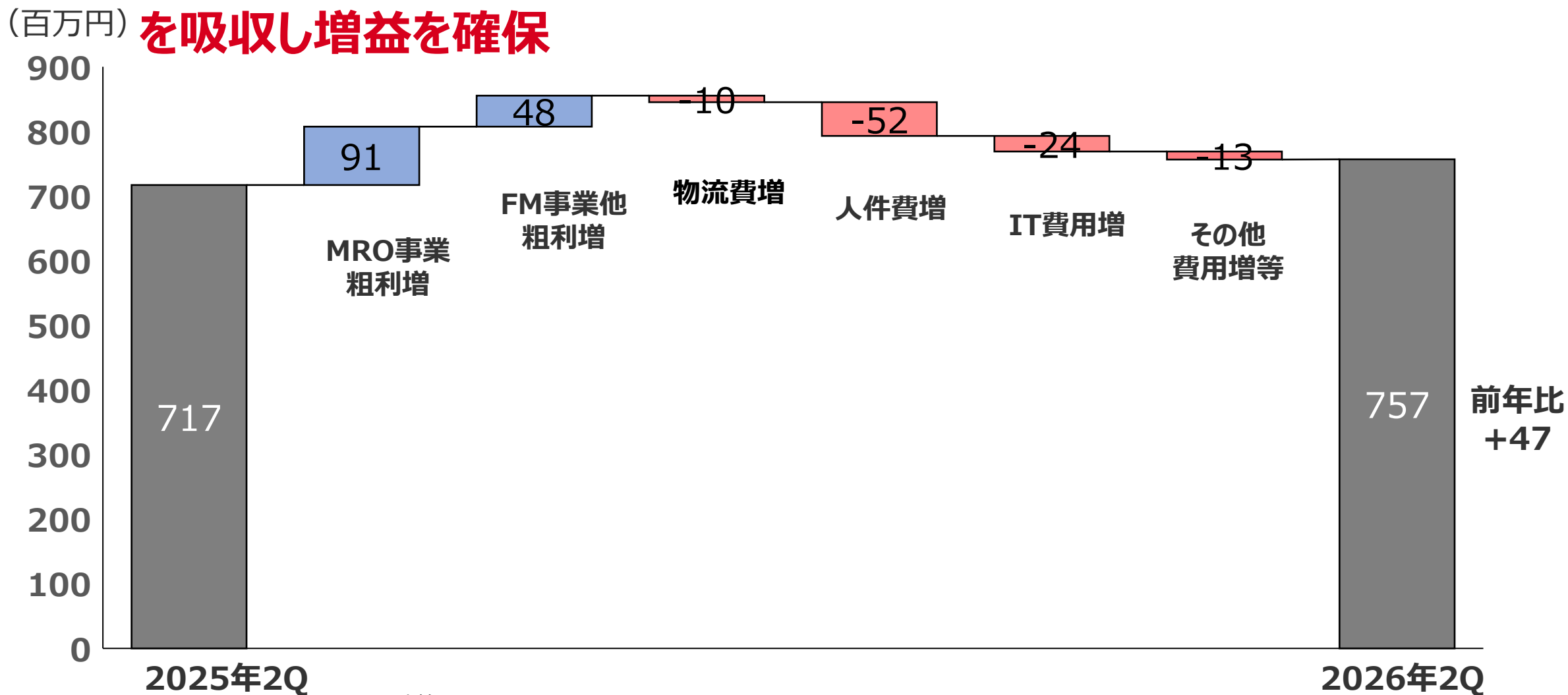
02-1.2026年12月期 第2四半期（中間期）の売上高および利益

MRO事業は堅調を維持、FM事業の回復もあり前年比増収・増益



02-2. 前年同四半期比の営業利益増減要因

MRO事業、FM事業とも粗利増加、人件費・IT等の戦略的費用増を吸収し増益を確保

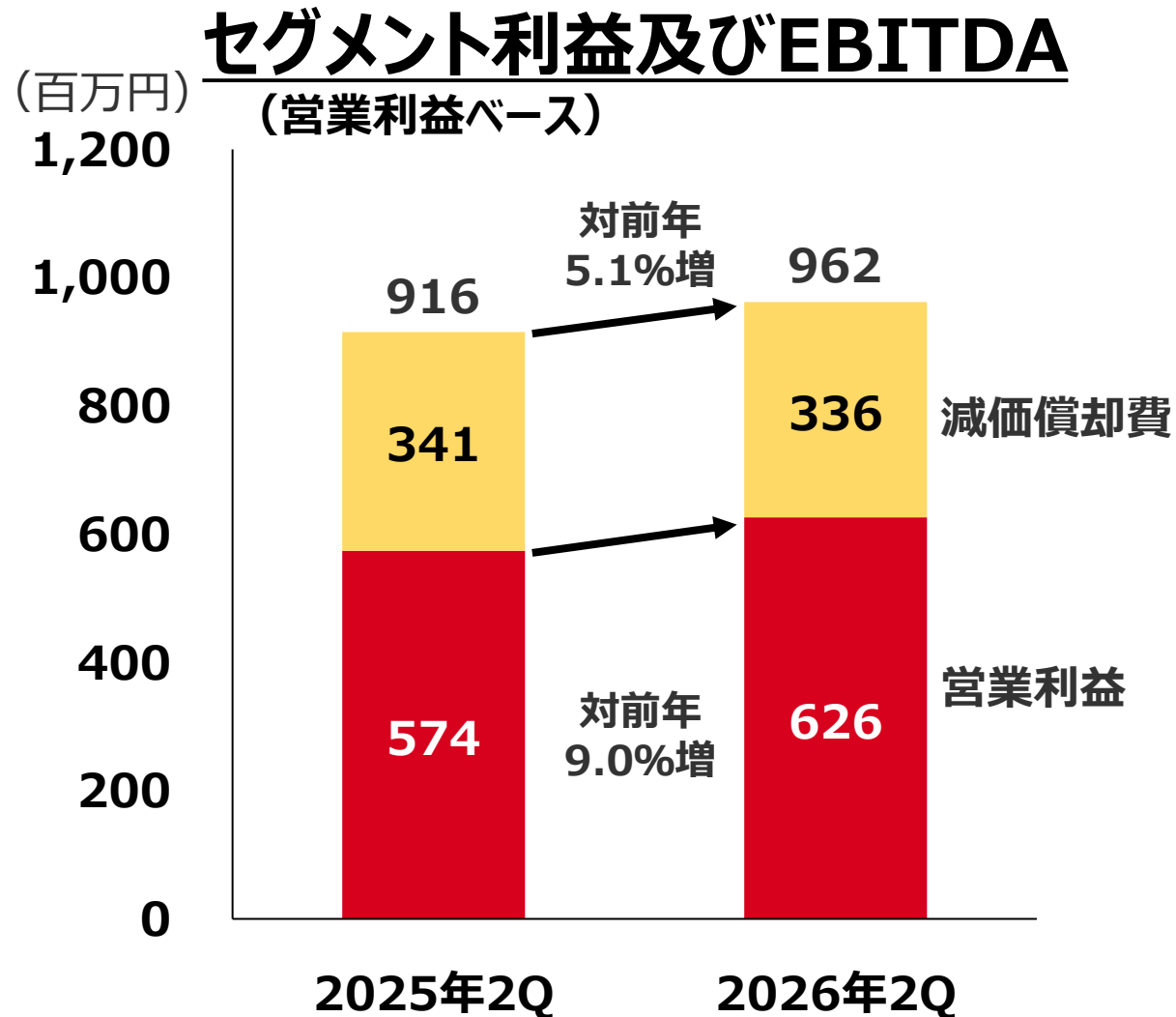
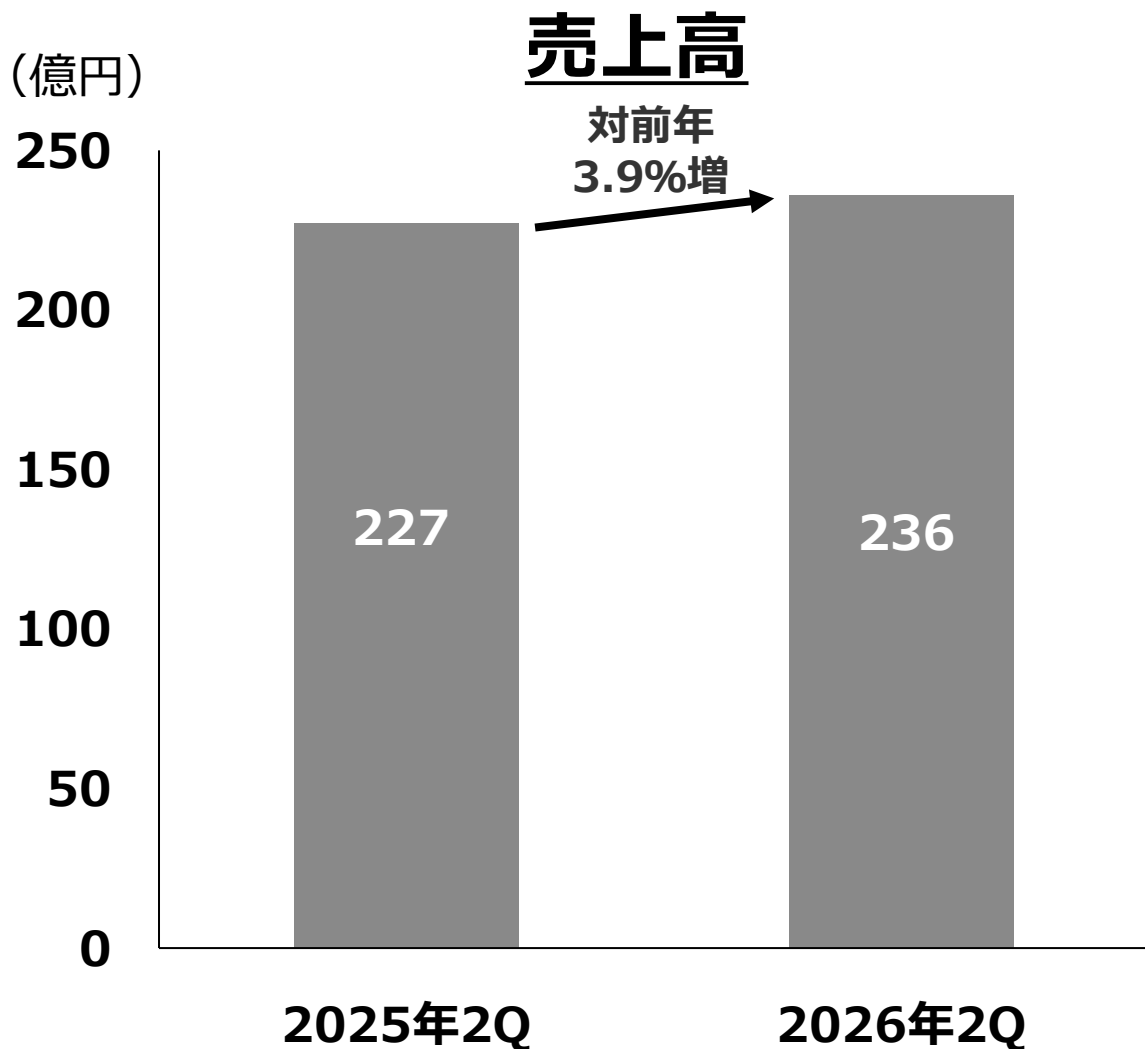


※12月決算

※金額は小数点以下切捨て

02-3. MRO事業の売上高、利益、およびEBITDA

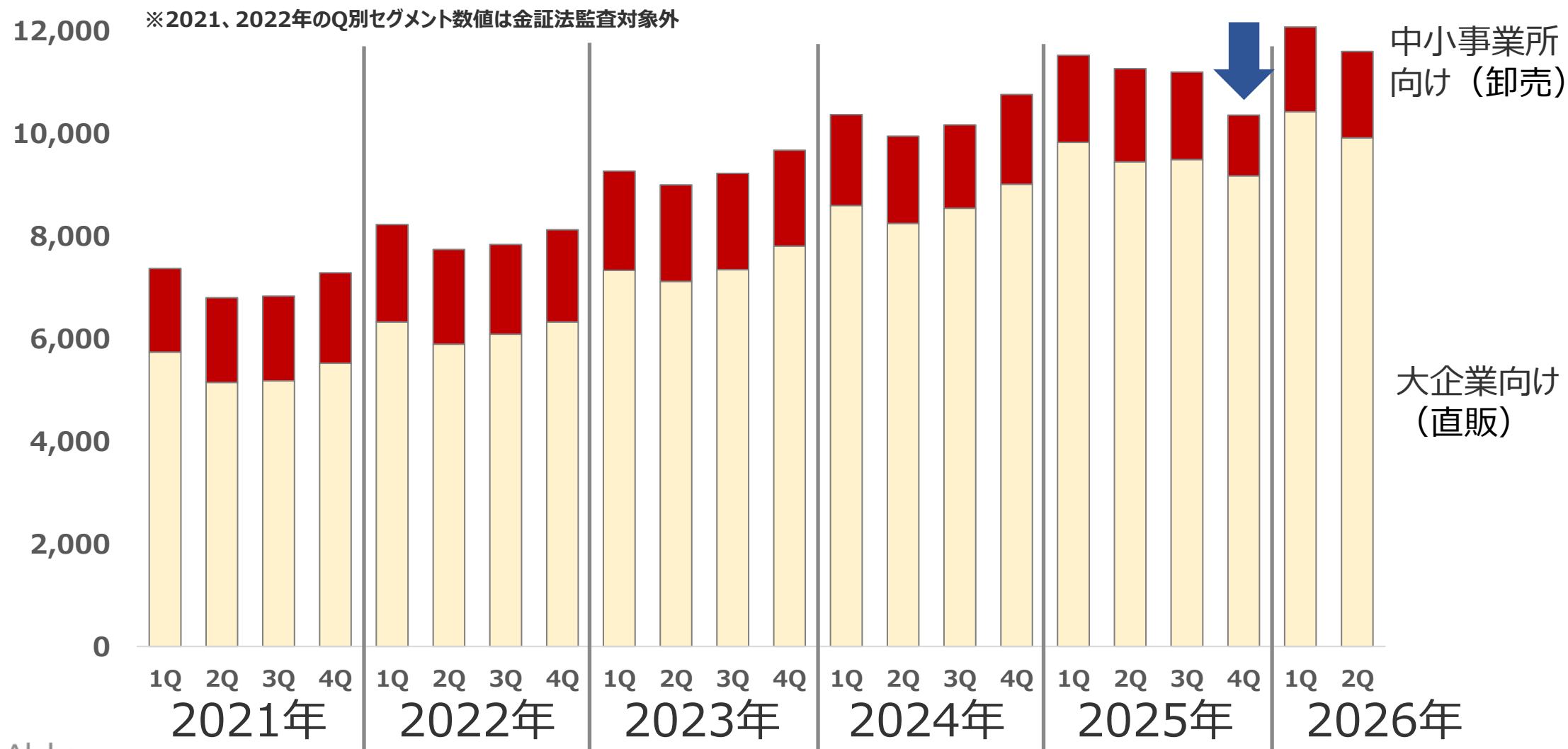
ランサムウェア影響により低下したサービスレベルは正常化したものの売上は弱含みで推移、
前年の熱中症対策品特需の反動あるも堅調、固定費の最適化により営業利益改善



02-4. MRO事業の販路別売上構成推移

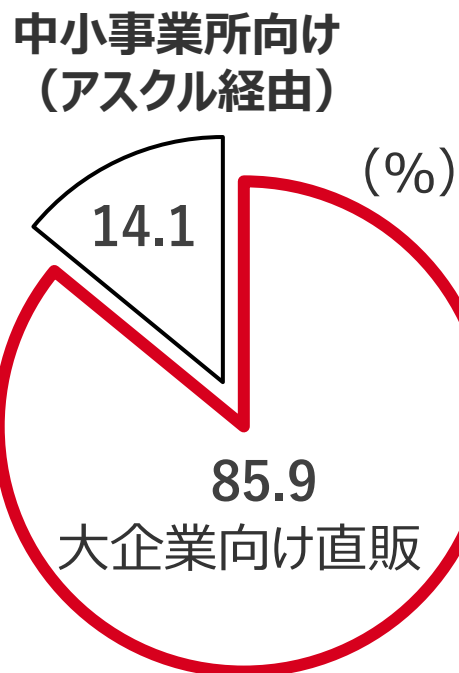
(百万円/四半期) **アスクランサムウェア影響から概ね回復**

アスクランサムウェア影響



02-5. MRO事業の売上構成と主要顧客グループ数の変化

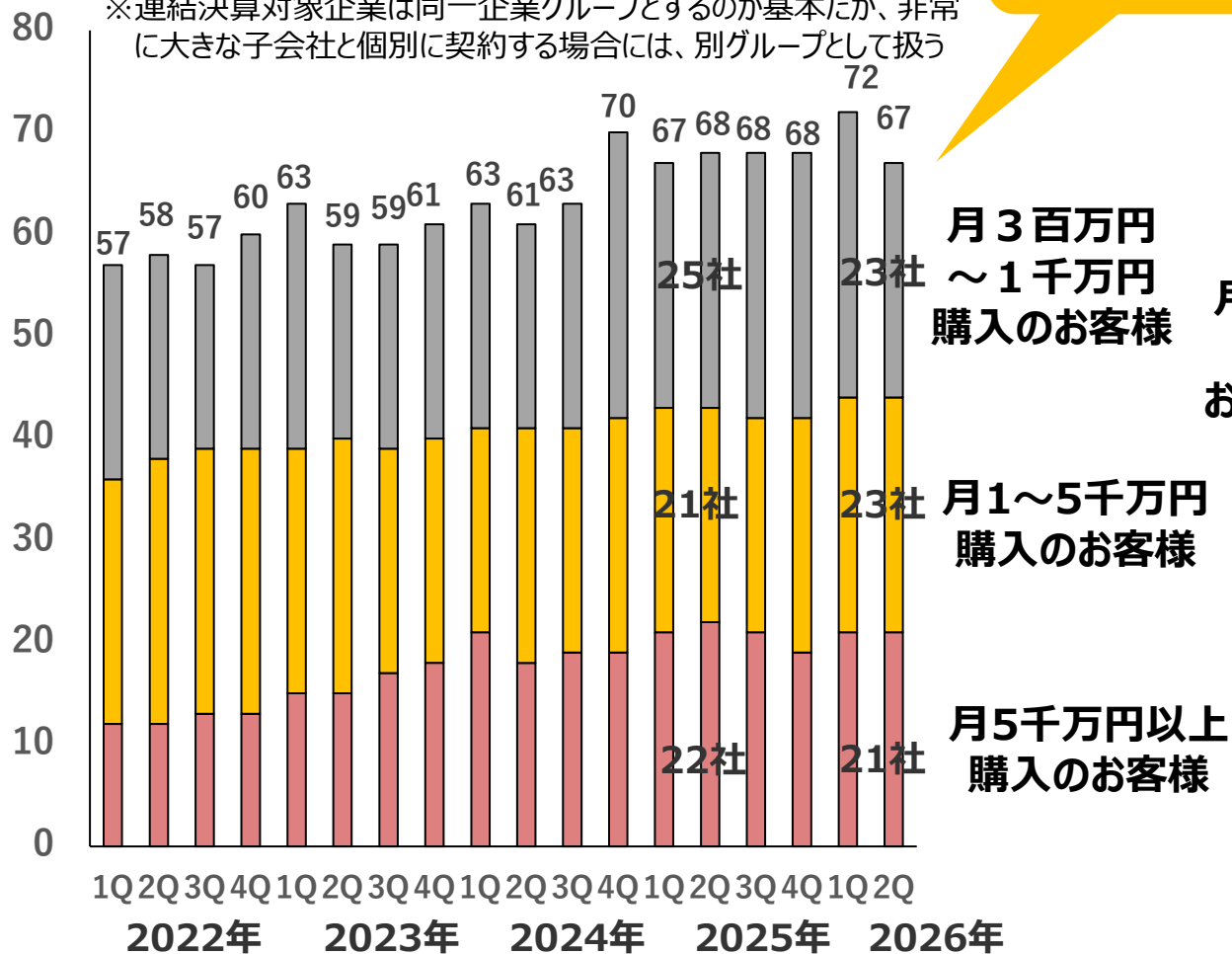
2026年1-2Qの
MRO全体の
売上金額構成比



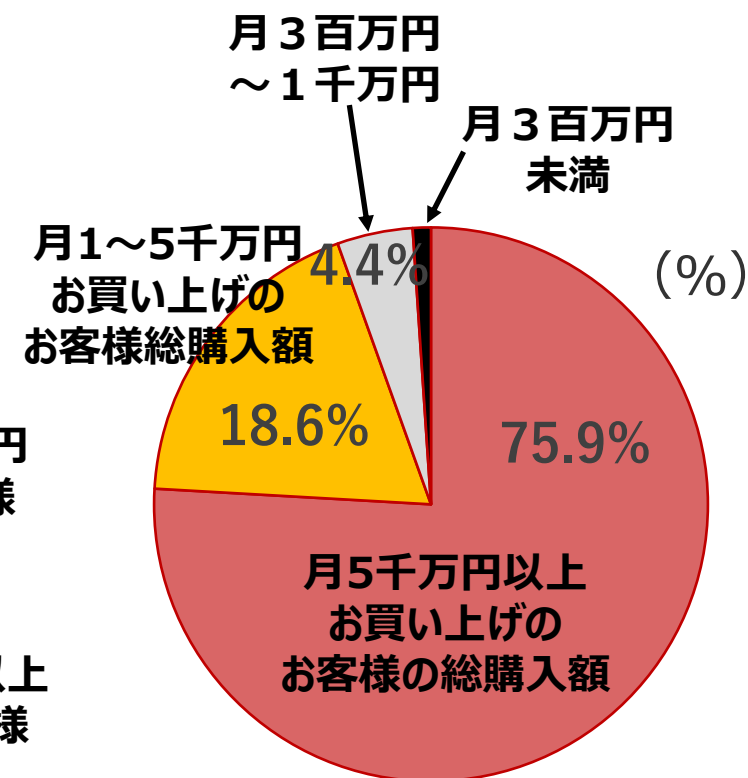
大企業向け直販顧客の
企業グループ※数の推移

(グループ数)

※連結決算対象企業は同一企業グループとするのが基本だが、非常に大きな子会社と個別に契約する場合には、別グループとして扱う



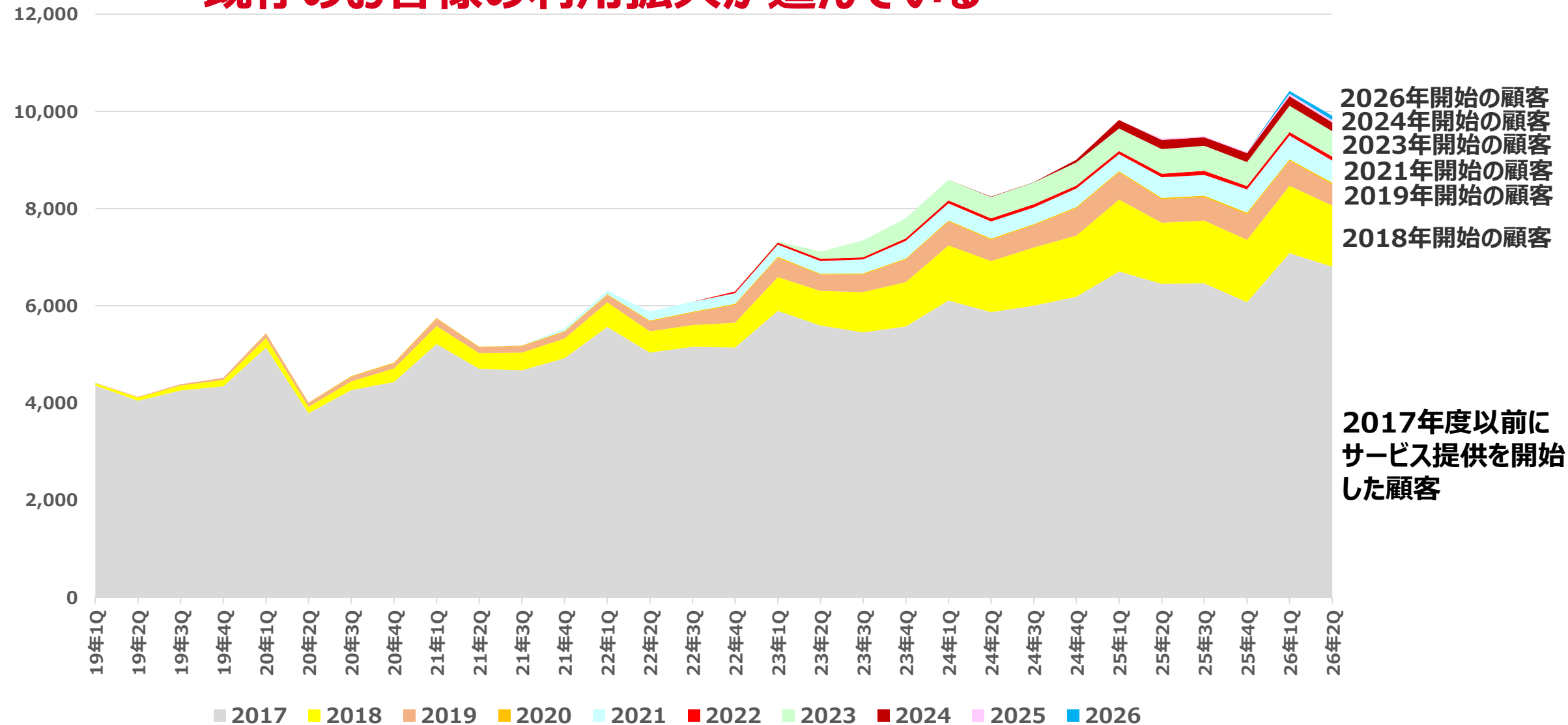
2026年1-2Qの
大企業向け直販
売上金額構成比



02-6. 大企業向けMRO事業の「契約年度別」売上推移

(百万円)

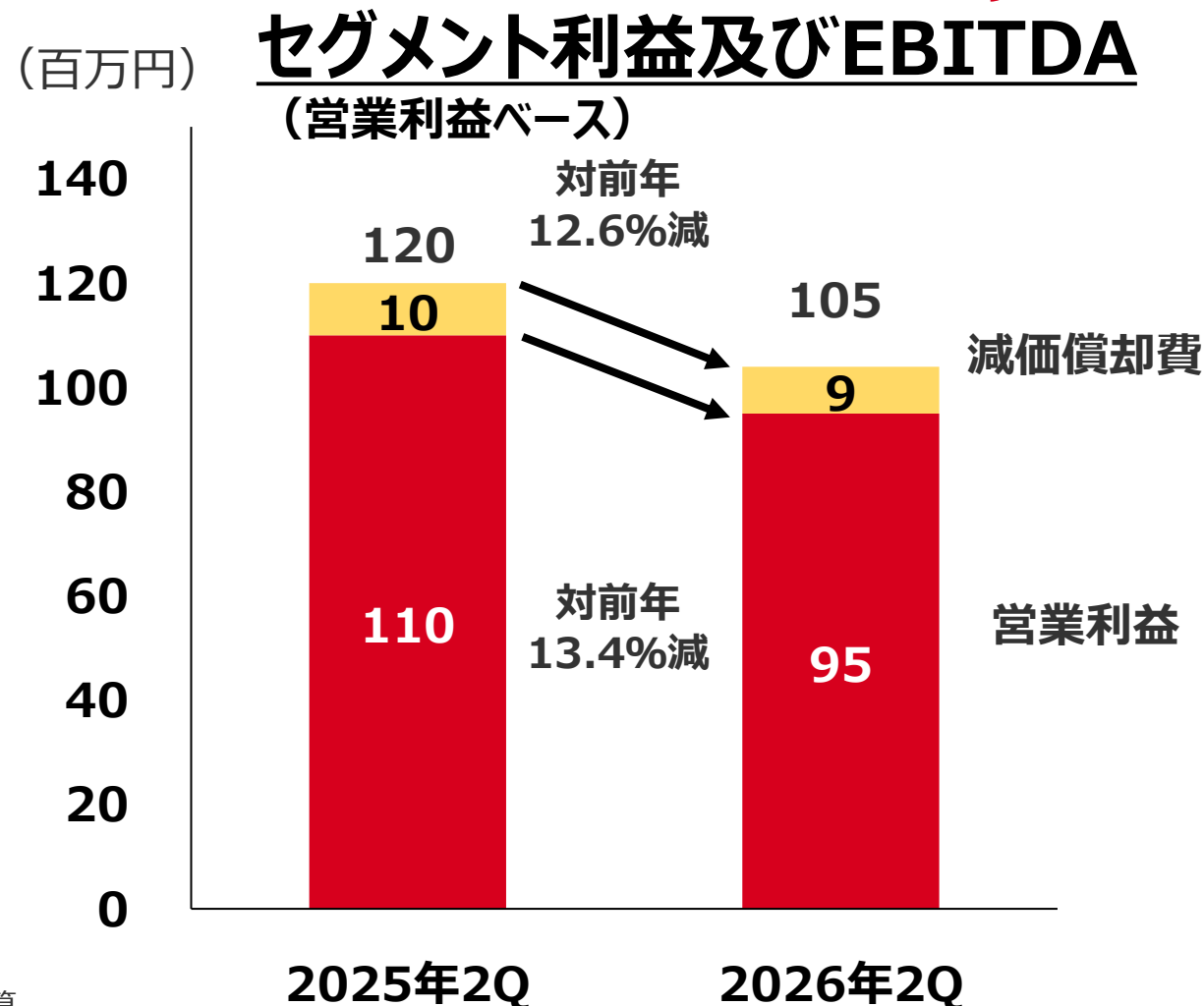
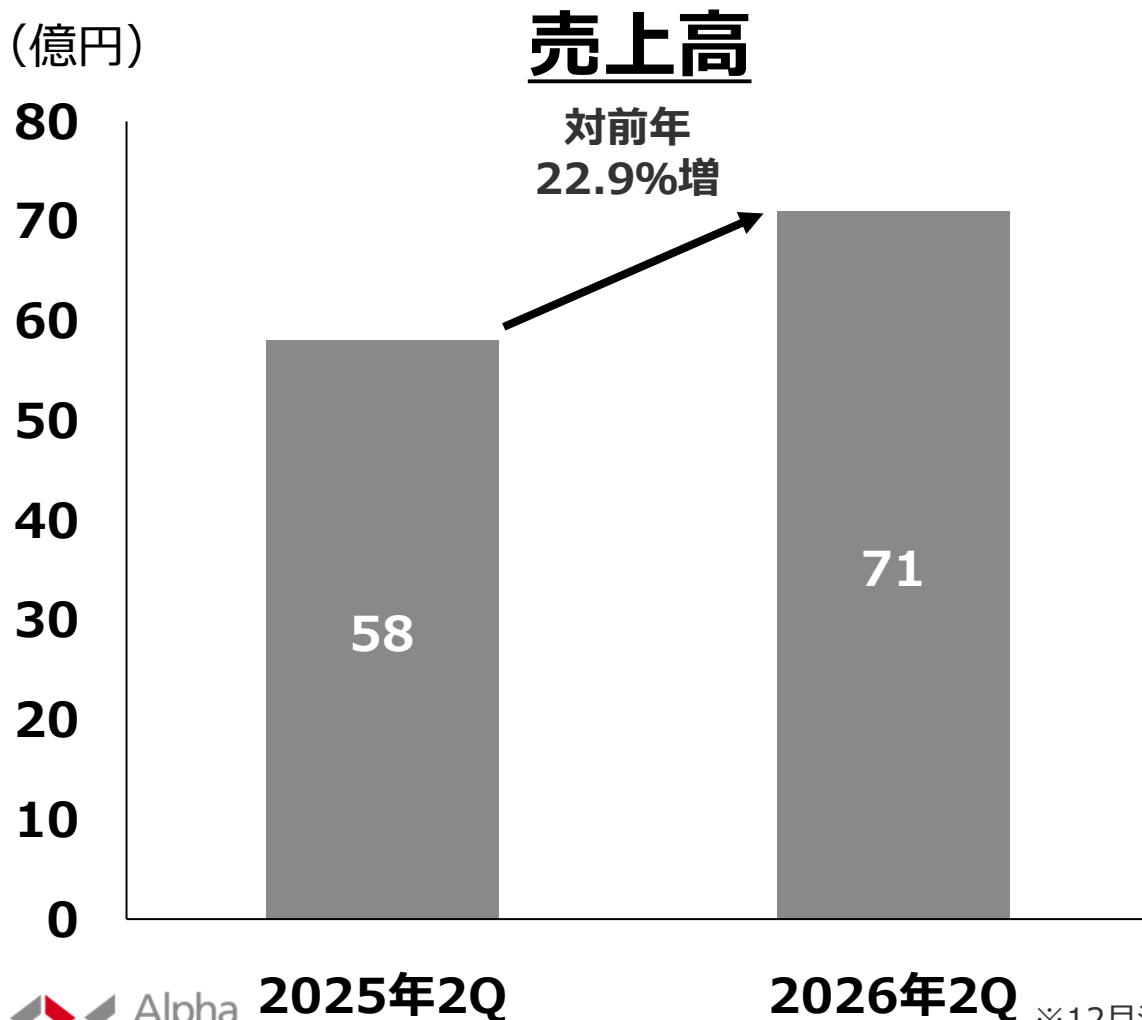
既存のお客様の利用拡大が進んでいる



02-7. FM事業の売上高、利益、およびEBITDA

大型工事案件の増加と一部の顧客の年末に偏っていた案件の平準化により売上高は大幅成長、
営業利益は第1四半期から改善

2025年1月～3月：67百万円 → 2026年1月～3月：34百万円
2025年4月～6月：43百万円 → 2026年4月～6月：61百万円



02-8.FM事業の売上の季節性と収益認識基準による売上内訳

大型工事案件の増加と、一部の顧客の年末に偏っていた案件の平準化により前期比増加

(百万円)

7,000

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

0

※2021、2022年のQ別セグメント数値は金証法監査対象外

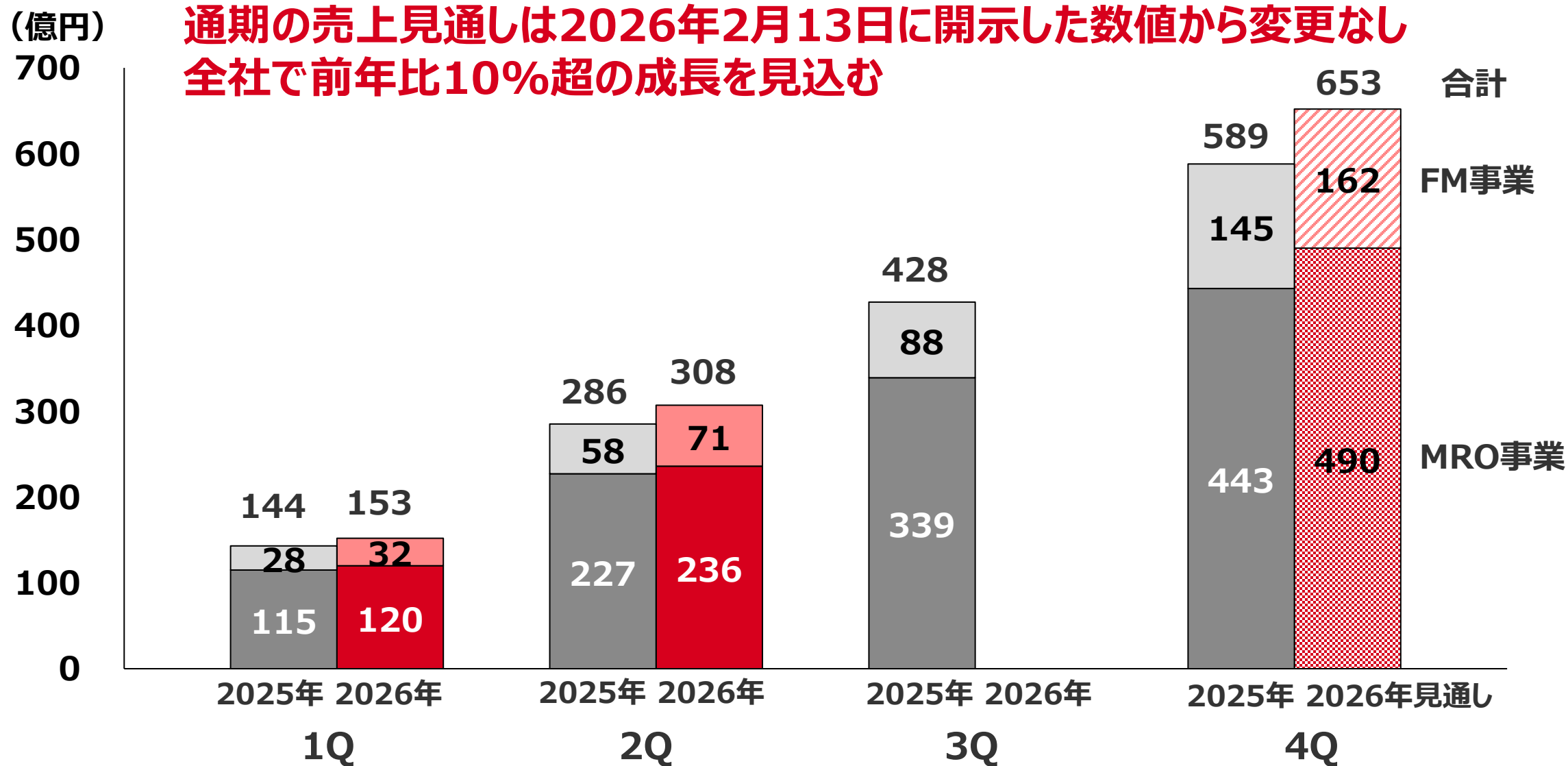
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2021年 2022年 2023年 2024年 2025年 2026年

一定の期間にわたり移転
される財またはサービス
(大型工事)

一時点で移転される財
またはサービス
(改装用資材販売、修繕等)

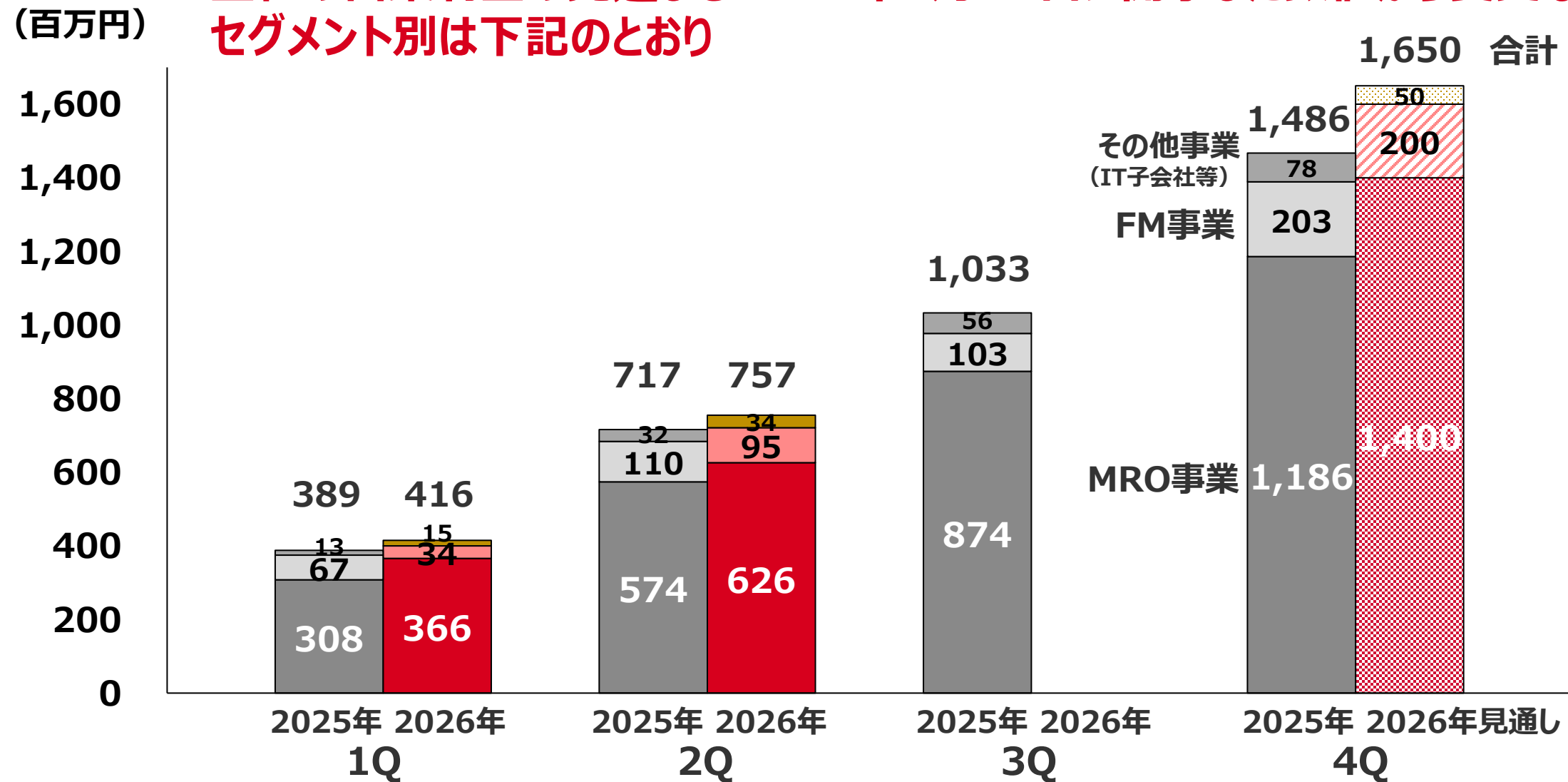
03. 通期業績見通し

03-1. 四半期別セグメント別累計売上高と通期の推移



03-2. 四半期別セグメント別累計営業利益の推移

全社の営業利益の見通しも2026年2月13日に開示した数値から変更なし
セグメント別は下記のとおり

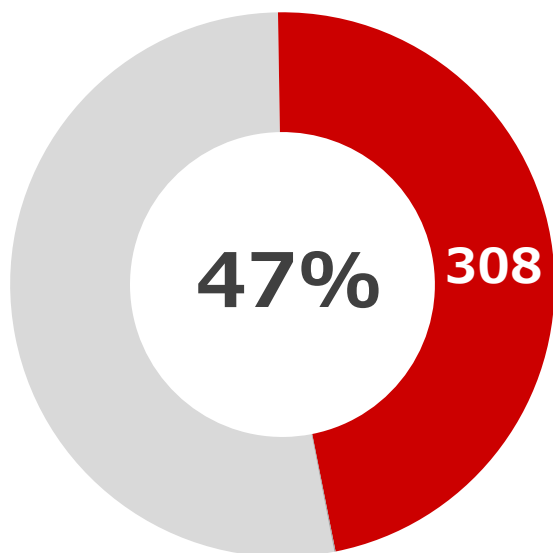


※12月決算

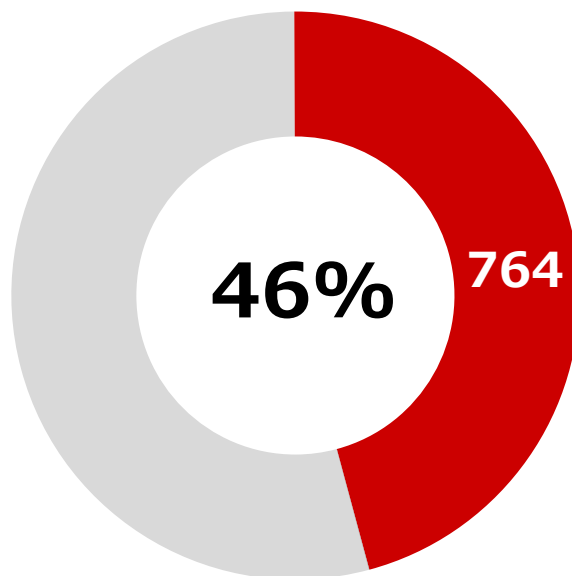
※金額は小数点以下切捨て、伸び率は四捨五入表示

03-3. 第2四半期 対通期見通し比実績進捗率

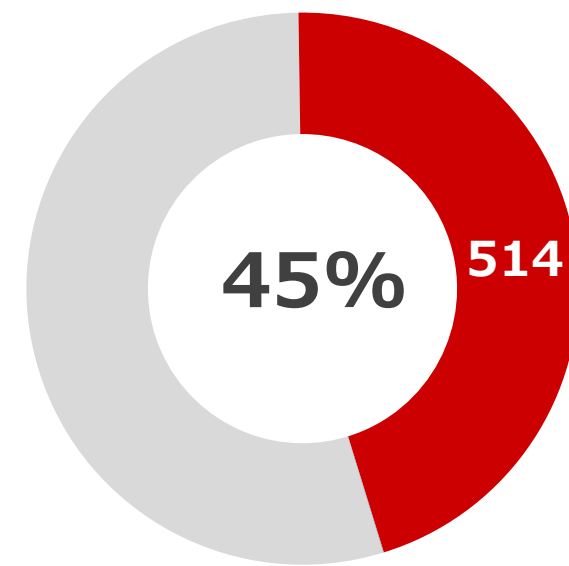
概ね例年通りの進捗率



売上高通期見通し
653（億円）



経常利益通期見通し
1,650（百万円）



当期純利益通期見通し
1,130（百万円）

03-4. 年間配当の予定および見通し（支払年ベース）

(円／株)

